**大学等における実務家教員の採用に関する調査**

貴学における実務家教員（※）の採用に関する現状及び今後の見通しについてお伺いします。

※本調査において、実務家教員とは「専攻分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する教員」のことを言います。

※「※必須」項目には必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。

**【回答期間】2021年9月22日（水）～10月20日（水）**

※該当する項目に☒を入れてください。

|  |
| --- |
| 1. **貴学について**
 |

1．設置形態は次のどれですか（※必須）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 1．国立 | □ | 2．公立 |
| □ | 3．私立 | □ | 4．株式会社立 |

2．学校種は次のどれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 1．大学 | □ | ２．短期大学 |
| □ | ３．専門職大学院（単体での設置の場合） | □ | ４．専門職大学 |
| □ | ５．専門職短期大学 | □ | ６．高等専門学校 |
| □ | ７．専修学校（専門学校） | □ | ８．その他（　　　　　　） |

3．学部・研究科の数は次のどれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 1．1学部/研究科 | □ | 2．2～3学部/研究科 |
| □ | 3．4～5学部/研究科 | □ | 4．6～7学部/研究科 |
| □ | 5．8～9学部/研究科 | □ | 6．10学部/研究科～ |

4．貴学の令和3年度における第1学年の入学者（機関全体の総計）は何人ですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 1．～200人 | □ | 2．201～500人 |
| □ | 3．501～1000人 | □ | 4．1001～1500人 |
| □ | 5．1501～2000人 | □ | 6．2001～2500人 |
| □ | 7．2501～3000人 | □ | 8．3001人～ |

5．現在、貴学全体で雇用されている実務家教員数を雇用形態別（専任・非専任）にご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1．専任教員 |  | 人 |
| 2．非専任教員 |  | 人 |

|  |
| --- |
| 1. **実務家教員の募集・採用について**
 |

1．主にどのような方法で実務家教員を募集していますか。該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．JREC-INや自機関ウェブサイト等を用いて公募している |
| □ | 2．一般向け就職・採用情報サイト・エージェントやハローワークを通じて募集している |
| □ | 3．役員・教職員等の個人的な人間関係を通じて募集している |
| □ | 4．教育・研究活動に関して連携している企業等に派遣・出向・推薦等を依頼している |
| □ | 5．その他（　　　　　　） |

2．主にどのような選考基準で実務家教員を採用していますか。該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．従来の研究者教員の採用時と同一の選考基準を用いている |
| □ | 2．実務家教員の採用に特化した選考基準を用いている |
| □ | 3．専門分野における修士号の有無を重視している |
| □ | 4．専門分野における博士号の有無を重視している |
| □ | ５．研究業績を重視している |
| □ | ６．教育能力・経験を重視している |
| □ | ７．その他（　　　　　　） |

3．実務家教員を採用している目的は何ですか。該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．教育・学習内容に実践的知識・スキルを加えるため |
| □ | 2．初年次教育やキャリア教育を担当してもらうため |
| □ | 3．演習、実験、実習又は実技を伴う授業科目を担当してもらうため |
| □ | 4．卒業研究・制作に関する学生指導を担当してもらうため |
| □ | 5．専門職学位課程における実践的科目を担当してもらうため |
| □ | 6．産学官連携による教育（インターンシップ、PBL、地域連携科目等）を推進するため |
| □ | 7．産学官連携による研究（共同研究や寄附講座の設置・運営等）を推進するため |
| □ | 8．大学による社会人の学び直し（リカレント教育）の機会を拡大するため |
| □ | 9．機関全体における教育改革・改善を推進するため |
| □ | 10．その他（　　　　　　） |

4．実務家教員の採用によって貴学ではどのような効果がありましたか。該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．教育研究の実践性が高まった |
| □ | 2．教育研究の高度化が推進された |
| □ | 3．学生の学習意欲ややる気が向上した |
| □ | 4．学生の学修成果や就職率が向上した |
| □ | 5．教育を改善・改革しようという意識が醸成された |
| □ | 6．特段の効果は感じていない |
| □ | ７．実務家教員の採用実績が少ないので、効果を判断できない |
| □ | ８．その他（　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 1. **今後の実務家教員採用計画について**
 |

1. 今後、実務家教員の採用を増やすことを計画していますか。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．計画している |
| □ | 2．計画はないが、採用を増やすことが望ましいと考えている |
| □ | ３．実務家教員の採用を増やすつもりはない |
| □ | ４．その他（　　　　　　） |

1. 上記1で「1．計画している」と回答した方に伺います。

お差し支えなければ、実務家教員の採用を計画している「1. 専門分野」及び「2. 採用予定人数」（概数でも可）をご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1．専任教員 |  | 人 |
| 2．非専任教員 |  | 人 |

|  |
| --- |
| 1. **実務家教員に期待する能力や役割について**
 |

1. 貴学が実務家教員に期待する知識・能力・経験は何ですか。該当するものを**最大3つまで**お選びください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．高度な実務能力・経験・実践知 |
| □ | 2．高度な教育力・授業力 |
| □ | 3．専門分野に係る深い専門知識・研究能力 |
| □ | 4．実務に係る最新の動向や知見 |
| □ | 5．業務や組織を管理運営する力 |
| □ | 6．社会人学生に対する教育力 |
| □ | 7．企業・官庁など外部社会との連携 |
| □ | 8．その他（　　　　　　） |

1. 貴学において実務家教員はどのような役割を担っていますか。該当するものをすべてお選びください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．実社会のニーズを踏まえて実践的教育を推進している |
| □ | 2．産学官連携による実践的研究を推進している |
| □ | 3．リーダーシップを発揮して組織の効果的な運営に貢献している |
| □ | 4．学術教員とは異なる新しい視点や知見を提供している |
| □ | 5．実務経験を背景に学問知と実践知の融合を推進している |
| □ | 6．その他（　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 1. **実務家教員の採用やマッチングシステム（※）について**
 |

※マッチングサポートとは、「大学等と実務家教員のためのマッチングサポート」を指しています。大学教育力を身に着けるための研修プログラム「実務家教員育成研修プログラム」の受講者・修了者と、大学等（大学、短期大学、高等専門学校、専門職大学・大学院、専門学校など）高等教育機関とのマッチングを支援するサイト（https://matching-jitsumuka.jp/）です。

|  |
| --- |
| 実務家教員の採用やマッチングサポートに関してご意見やご希望がありましたら、自由にお書きください。 |
|  |

|  |
| --- |
| 1. **ご回答者について**
 |

1. ご回答者の職は次のどれですか。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 1．教員役職者（学長、学部長、学科長等） |
| □ | 2．教員（教授、准教授、講師等） |
| □ | 3．職員役職者（課長級以上） |
| □ | 4．職員（課長補佐・係長・主任・一般職員等） |
| □ | 5．その他（　　　　　　） |

1. お差し支えなければ、機関名称、所属学部・部署名、連絡先（メールアドレス等）をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名称 |  |
| 所属学部・部署名 |  |
| 連絡先 |  |
| □ | （本調査に関して追加でご質問させていただける場合、□にチェックを入れてください。） |

調査は以上です。ご協力どうもありがとうございました。